

(8) へき地医療

① 第6次愛媛県地域保健医療計画の進捗及び評価

県では、へき地の医療提供体制を整備するため、第6次愛媛県地域保健医療計画に基づき、平成29年度まで、医師確保と医療確保、そして診療支援を中心とした各種事業に取り組んできました。

医師確保対策としては、自治医科大学卒業医師の養成とへき地医療機関への配置を行ったほか、へき地医療医師確保奨学金制度及び愛媛大学医学部定員増に対応した地域医療医師確保奨学金制度の設立やドクターバンク事業の推進等に努めてきました。

また、医療確保対策としては、へき地診療所の運営に係る経費や無医地区等の島しょ部住民を対象に済生会が実施する巡回診療事業に係る経費等に対して補助を行いました。

さらに、診療支援対策としては、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施するために設置したへき地医療支援機構の体制整備に努めたほか、へき地医療機関に従事する医師が学会や研修への参加により不在となる場合等に、へき地医療拠点病院から医師を派遣する代診医制度を実施し、地域医療の確保及び勤務医師の勤務環境の改善に取り組んできました。

しかしながら、近年の医師不足により、へき地における医療機関はもとより、それらの医療機関を支援すべき地域の中核的な医療機関においても医師が不足しているなど、必ずしもへき地の医療ニーズに十分対応できていない状況にあります。

今後は、第6次計画に基づく取組みで十分達成できなかった事項を踏まえ、医師の確保や医療機関の相互連携に重点を置いた取組みを行っていく必要があります。

なお、「愛媛県へき地保健医療計画」は国の策定指針に基づいて、第7次医療計画策定期間に合わせ、「医療計画」と一体的に策定する方針が示されたことから、へき地保健医療対策は医療計画において計画を策定することとしました。

〔第6次愛媛県地域保健医療計画 へき地医療 数値目標〕

指標名	第6次計画策定時点			最新値			評価
	県計	目標値	達成年度	県計	時点	出典	
無医地区の数	6	6以下	29年度	7	H26.10	無医地区等調査(H26)	△
準無医地区の数	4	4以下	29年度	5	H26.10	無医地区等調査(H26)	△
無歯科医地区の数	21	21以下	29年度	26	H26.10	無医地区等調査(H26)	△
準無歯科医地区の数	5	5以下	29年度	4	H26.10	無医地区等調査(H26)	◎
へき地診療所の医師数(延べ)	27	27以上	29年度	25	H27	へき地医療現況調査(H28)	△
へき地医療拠点病院の数	11	各圏域 1以上	29年度	11	H28	へき地医療現況調査(H28)	○
へき地医療拠点病院からのへき地診療所への代診医等派遣日数	225	各圏域 1以上	29年度	160.5	H27	へき地医療現況調査(H28)	○
へき地医療拠点病院からの無医地区等への巡回診療実施日数	0	無医地区等を 有する圏域で 1以上	29年度	0	H27	へき地医療現況調査(H28)	△

【評価】◎：目標値に達している、○：目標値には達していないが改善に向け推移している、△：改善がみられない、－：評価できない

②概況

本県においては、中山間地域や離島等いわゆるへき地を多く抱えており、これまで、各種事業によるへき地医療の充実を図ってきたところです。

医師数は、県全体としては増加していますが、地域間の偏在が顕著で、特にへき地では医師不足が深刻化するなど、地域医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、また、急速な高齢化の進展や世帯構造・疾病構造の変化等から、山村・離島等における県民の保健・医療に対するニーズも多様化・複雑化しています。

このため、医師確保対策の推進により、県全体の医療提供体制の底上げを図るとともに、医療・介護・福祉を一体的に提供していく地域包括ケアを推進し、へき地における医療提供体制や診療支援体制の確保と、県全体でへき地医療を支えていく体制の強化を図ることが求められています。

○無医地区等

厚生労働省は、5年ごとに無医地区等調査を行っており、平成26年10月末時点の調査では、県内の無医地区は7地区、無医地区に準じる地区は5地区となっています。

前回調査（平成21年10月末）との比較では、無医地区及びそれに準じる地区ともに1地区ずつ増加しました。

無医地区及びそれに準じる地区は、交通事情の改善等により、全国的にも減少傾向にあるものの、いまだ解消には至っていません。

これらの地区を抱える市町においては公共交通機関が不足しており、住民にとっては医療機関へ通うことが困難であることから、へき地医療拠点病院による巡回診療やへき地患者輸送車の運行等、地域住民の医療の確保に努める必要があります。

〔無（歯科）医地区等の定義〕

（無（歯科）医地区）

無（歯科）医地区とは、医療機関のない地域で、当該地域の中心的な場所を起点として、おおむね半径4kmの区域内に人口50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。

（無（歯科）医地区に準じる地区）

無（歯科）医地区に準じる地区とは、無医地区には該当しないが、無医地区に準じた医療の確保が必要な地区と各都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区をいう。

〔無医地区等の状況〕

	平成21年10月末現在				平成26年10月末現在			
	無医地区		準無医地区		無医地区		準無医地区	
二次医療圏	地区数	人口	地区数	人口	地区数	人口	地区数	人口
宇摩	1	269	—	—	1	217	—	—
新居浜・西条	—	—	1	202	—	—	1	177
今治	—	—	—	—	—	—	—	—
松山	4	467	1	32	5	496	2	71
八幡浜・大洲	—	—	—	—	—	—	2	4,234
宇和島	1	102	2	62	1	85	—	—
計	6	838	4	296	7	798	5	4,482

〔厚生労働省「無医地区等調査」（5年に1度実施）〕

〔無歯科医地区等の状況〕

	平成 21 年 10 月末現在				平成 26 年 10 月末現在			
	無歯科医地区		準無歯科医地区		無歯科医地区		準無歯科医地区	
二次医療圏	地区数	人 口	地区数	人 口	地区数	人 口	地区数	人 口
宇 摩	1	269	—	—	1	217	—	—
新居浜・西条	1	202	—	—	1	177	—	—
今 治	1	114	1	41	1	97	1	30
松 山	9	2,524	1	32	14	3,247	2	71
八幡浜・大洲	4	4,623	1	31	4	3,951	1	17
宇 和 島	5	1,509	2	62	5	1,306	—	—
計	21	9,241	5	166	26	8,995	4	118

〔厚生労働省「無医地区等調査」（5年に1度実施）〕

○へき地診療所

へき地診療所は、無医地区等の医療に恵まれない地域住民の医療を確保することを目的として設置・運営されており、平成 29 年 4 月 1 日現在、県内に 54 施設あります。地域別では、東予地区に 8 施設、中予地区に 10 施設、南予地区に 36 施設と、その大半は南予地区に設置されています。

へき地診療所については、医師不足により診療体制を縮小している診療所があるなど、医師の確保が課題となっています。

また、施設の老朽化による維持管理経費の負担や診療に必要な医療機器の整備等、施設、設備面への対応が必要となっているほか、へき地診療所における医師やスタッフの確保・定着を図るための勤務環境や生活環境の整備等、医師やスタッフの働きやすい環境づくりが求められています。

なお、県内へき地診療所 54 施設の医師数は、常勤医 17 人（実人数）、非常勤医 50 人（実人数）となっており、常勤医、非常勤医全体で 60 人（実人数・重複 7 人）となっています。

医師の平均年齢は、常勤医 55.1 歳、非常勤医 55.1 歳となっており、常勤医、非常勤医全体で 55.5 歳となっています。

〔へき地診療所の圏域別医師数（実人数）〕

圏域	診療所数	常勤医(人)		非常勤医(人)	
宇摩	1	1	(1)	0	(0)
新居浜・西条	2	0	(0)	4	(4)
今治	5	1	(1)	4	(2)
松山	10	3	(3)	21	(13)
八幡浜・大洲	17	8	(8)	24	(23)
宇和島	19	4	(4)	19	(8)
計	54	17	(17)	72	(50)

〔平成 29 年度愛媛県調べ〕

〔市町及び区分別人口〕

圏域	市町	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (高齢者人口)	不詳	計
宇摩	四国中央市	10,741	49,719	26,123	830	87,413
新居浜・西条	新居浜市	15,812	66,679	36,715	697	119,903
	西条市	13,857	60,473	32,793	1,051	108,174
今治	今治市	18,816	86,057	52,636	605	158,114
	上島町	548	3,554	3,026	7	7,135
松山	松山市	64,925	303,024	128,658	18,258	514,865
	伊予市	4,609	20,602	11,556	60	36,827
	東温市	4,393	20,446	9,526	248	34,613
	久万高原町	728	3,712	3,984	23	8,447
	松前町	4,007	17,301	8,703	53	30,064
	砥部町	2,671	12,161	6,323	84	21,239
八幡浜・大洲	八幡浜市	3,558	18,209	13,058	126	34,951
	大洲市	5,370	23,586	14,715	415	44,086
	西予市	4,199	18,830	15,867	23	38,919
	内子町	1,904	8,422	6,352	64	16,742
	伊方町	839	4,637	4,150	0	9,626
宇和島	宇和島市	8,483	40,680	28,072	230	77,465
	松野町	354	1,984	1,726	8	4,072
	鬼北町	1,159	5,027	4,516	3	10,705
	愛南町	2,137	11,008	8,687	70	21,902
	計	169,110	776,111	417,186	22,855	1,385,262

〔統計局「平成27年度国勢調査」(5年に1度実施)〕

〔医師数〕

圏域	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
宇摩	145	146	140	136	163	150
新居浜・西条	481	471	476	468	464	462
今治	319	321	317	317	323	322
松山	1,880	2,021	2,013	2,108	2,199	2,264
八幡浜・大洲	305	293	286	279	268	283
宇和島	269	267	271	276	262	264
県計	3,399	3,519	3,503	3,584	3,679	3,745

〔厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(2年に1度実施)〕

〔人口10万対医師数〕

圏域	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
宇摩	157.0	160.1	155.2	152.7	185.4	173.1
新居浜・西条	203.3	200.2	203.6	201.7	203.0	203.7
今治	176.7	180.8	182.0	185.4	193.3	196.3
松山	287.8	309.9	308.5	324.0	339.2	351.5
八幡浜・大洲	183.7	182.0	182.7	183.6	182.1	199.9
宇和島	205.0	210.2	218.1	229.1	224.9	236.2
県計	232.8	243.7	244.7	253.3	263.7	272.4

〔厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(2年に1度実施)〕

○へき地医療拠点病院

へき地における住民の医療を確保することを目的に、「へき地医療支援機構」の指導・調整のもと、へき地診療所への代診医の派遣、へき地医療従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業を行う「へき地医療拠点病院」を指定しています。

平成 14 年 4 月に県立中央病院を指定したのをはじめ、平成 29 年 4 月現在、県下 11 病院体制となっています。

全県的な医師不足や地域偏在の影響を受け、へき地保健医療対策の中核的な役割を担うへき地医療拠点病院においても医師不足が顕在化しており、巡回診療や代診医派遣等のへき地診療所に対する支援機能が著しく低下している状況にあります。

このような中であって、医師が研修・学会等へ参加する際の代診医派遣要請や女性医師が産休・育休を取得する際の代診医派遣要請等、代診医派遣に対するニーズは、今後益々高まることが予想されるため、拠点病院においては、支援機能のより一層の充実が求められています。

また、へき地医療拠点病院のほとんどが、5 疾病 5 事業及び在宅医療の担い手でもあることから、物的・人的・財政的支援をすることで、任されている役割を十分担える体制を整備していくことが求められます。

〔平成 28 年度代診医派遣実績〕

圏域	派遣先医療機関名	日 数	自治医大卒 医師配置
宇摩	四国中央市国保新宮診療所	1 2	—
八幡浜・大洲	伊方町国保九町診療所	4	—
	伊方町国保瀬戸診療所	7 7	義務内 1 人
	大洲市国保河辺診療所	2	—
宇和島	松野町国保中央診療所	8 5	義務内 2 人
	愛南町国保一本松病院附属内海診療所	7	義務内 1 人
	計	1 8 7	(月平均15.5日)

〔愛媛県「平成 28 年度へき地医療支援事業について」〕

○へき地医療支援機構

県では、へき地診療所への代診医の派遣要請をはじめ、広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行い、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的として「へき地医療支援機構」を設置しています。

へき地医療支援機構には、へき地での診療経験がある医師を「専任担当者」として配置していますが、近年の医師不足の影響から、専任担当者自らがへき地診療所への代診業務に従事するなど、必ずしも、へき地保健医療対策に関する総合的な企画・調整等の業務に専念できていない状況にあり、機構の機能強化が急務とされています。

また、へき地医療支援機構は、へき地保健医療施策の中心的機関として、へき地医療拠点病院に対する医師派遣の要請や総合的な診療支援事業の企画・調整等の役割を担っているほか、へき地医療を担う医師の動機づけやキャリア形成支援に主体的に関わることが期待されています。

③圏域の設定

地域の実情に応じた対策が必要であるとともに、公立医療機関を中心とした行政との連携が必要であるため、2次医療圏を圏域に設定します。

圏域	対象市町
宇摩	四国中央市
新居浜・西条	新居浜市、西条市
今治	今治市、上島町
松山	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町
八幡浜・大洲	八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町
宇和島	宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町

④各医療機能における目的、求められる機能、現状、課題及び対策

▼保健指導（へき地における保健指導の機能）

〔目的〕

- ・住み慣れた地域で健康を維持し、必要な医療が安心して受けられます。

〔現状〕

- ・県内には、無医地区が7地区、無医地区に準じる地区が5地区（平成26年10月末時点）あります。
- ・へき地診療所では、診療体制を縮小している診療所があるなど、地域住民の医療の確保が難しくなっています。

〔課題・求められる機能〕

- ・日頃から健康を維持するため、保健指導に必要な体制が整備されるとともに、地区の保健衛生状態を十分把握し、保健所及び最寄りのへき地診療所等との緊密な連携のもとに計画的に地区の実情に即した保健指導等を行い、へき地における住民が自ら保健衛生状態を管理することが必要です。

〔対策〕

- ・保健医療の機会に恵まれないへき地の住民に対する保健指導を行うため、最寄りの保健所や市町、医療機関等が連携し、地区の実情に即した保健活動の実施に努めます。
- ・無歯科医地区等の園児・児童・生徒等を対象として、歯科保健指導を実施します。
- ・無医地区等の島しょ部住民の医療を確保するため、社会福祉法人恩賜財団済生会が巡回診療船済生丸による診療事業を実施しており、疾病の診療や保健予防等を実施しているほか、地域医療に従事する医師の研修の場としても活用されており、今後においても継続して支援を行います。

▼へき地診療（へき地における診療の機能）

〔目的〕

- ・ 住み慣れた地域で健康を維持し、必要な医療が安心して受けられます。

〔現状〕

- ・ 本県では、医師の地域間の偏在が顕著で、へき地での医師不足の深刻化や医師の高齢化が進んでいます。
- ・ へき地診療所では、診療体制を縮小している診療所があるなど、地域住民の医療の確保が難しくなっています。

〔課題・求められる機能〕

- ・ へき地においては、医療資源が限られていることから、医師等の確保や巡回診療の実施、施設・設備の整備、へき地医療拠点病院との連携体制の構築等、へき地における外来や在宅医療等が確保されていることが必要です。

〔対策〕

- ・ 無医地区等の医療に恵まれない地域住民へ医療を提供するため、引き続き、へき地診療所の整備及び運営費の補助等に努め、現行の設備・施設整備の充実及び拡充について配慮するとともに、勤務環境や生活環境の整備等の医師・スタッフの働きやすい環境づくり、専門的な医療、高度な医療を提供する機関への搬送体制の整備にも努めます。
- ・ 県下 11 のへき地医療拠点病院体制のもと、へき地診療所との連携をより一層強め、へき地に従事する医師に対する研修の実施や技術指導・援助等を行うほか、地域の実情に応じた巡回診療・代診医派遣等を実施することにより、地域住民の医療の確保を図るとともに、へき地医療拠点病院の拡充と更なる体制の強化を引き続き検討します。
- ・ へき地診療所から、地域の実情に応じて巡回診療を実施することにより、地域住民の医療の確保を図ります。
- ・ 地域医療を確保するため、へき地診療所から、地域の実情に応じて訪問診療（歯科を含む。）及び訪問看護を実施するとともに、高齢者等の口腔ケアの推進を図るため、医療と介護との連携や在宅歯科診療希望者の相談等を行う在宅歯科医療連携室の整備・運営を支援します。
- ・ 無医地区等の島しょ部住民の医療を確保するため、社会福祉法人恩賜財団済生会が巡回診療船済生丸による診療事業を実施します。
- ・ 地域医療を確保するため、自治医科大学における医師の養成及びへき地医療機関への配置や県の指定医療機関等で勤務する医学生に対する奨学金の貸与、愛媛大学医学部に設けられている「地域特別枠」について「地域医療医師確保奨学金制度」を設けるなどして、引き続き医師の養成を図ります。

- ・看護職員等の確保、県内定着及び離職防止を図るため、潜在看護師の活用を図るナースセンター事業の推進や新人看護職員研修、実習指導者講習会に加えて病院内保育所運営事業に対する助成等に努めます。

▼へき地診療の支援医療（へき地の診療を支援する医療の機能）

〔目的〕

- ・住み慣れた地域で健康を維持し、必要な医療が安心して受けられます。

〔現状〕

- ・本県では、医師の地域偏在が顕著で、へき地での医師不足の深刻化や医師の高齢化が進んでいるだけでなく、へき地を支援する機能を有するへき地医療拠点病院においても、医師不足が顕在化しています。

〔課題・求められる機能〕

- ・へき地では、1人で運営する診療所が多いため、巡回診療の実施、へき地診療所への代診医派遣（継続的な医師派遣を含む。）、技術指導・援助及びへき地医療従事者の研修機会の確保等、へき地の診療機能の維持・向上に対する取り組みが必要です。

〔対策〕

- ・県下 11 のへき地医療拠点病院体制のもと、へき地診療所との連携をより一層強め、へき地に従事する医師に対する研修の実施や技術指導・援助等を行うほか、地域の実情に応じた巡回診療・代診医派遣等を実施することにより、地域住民の医療の確保を図るとともに、へき地医療拠点病院の拡充と更なる体制の強化を引き続き検討します。
- ・へき地診療所から、地域の実情に応じて巡回診療を実施することにより、地域住民の医療の確保を図ります。
- ・医師不足や診療科間・地域間の医師の偏在により、地域の医療機関において診療機能の維持・確保が困難となる状況を解決するため、郡市医師会と連携して、圏域ごとに自立した医療提供体制の整備を図ります。
- ・小児の急な傷病について、県内在住の保護者の相談に医師、看護師が電話対応することにより、症状に応じた適切な受診を促し、患者・医療機関の負担の軽減を図ります。
- ・山間部・島しょ部等における救急患者の搬送や交通事故等による重傷患者の救命救急センター等への搬送、災害時における広域的な救急搬送等に対応するため、ドクターヘリ及び消防防災ヘリコプターの運航を行い、患者の救命率の向上や後遺症の軽減等を図ります。
- ・都市部と地理的に隔絶するへき地においても情報通信技術（ICT）の活用により、診療支援体制の充実が可能となるよう情報システムの導入を推進します。

▼行政機関等の支援（行政機関等によるへき地医療の支援）

〔目的〕

- ・住み慣れた地域で健康を維持し、必要な医療が安心して受けられます。

〔現状〕

- ・近年の医師不足の影響から、へき地医療支援機構専任担当者自らがへき地診療所への代診業務に従事するなど、必ずしも、へき地保健医療対策に関する総合的な企画・調整業務に専念できていません。

〔課題・求められる機能〕

- ・へき地においては、行政機関等による総合的な企画・調整機能が必要なことから、代診医派遣、医師派遣の調整、医師確保のためのドクタープール機能の保持、医師のキャリア形成支援及び専任担当者がへき地医療関連業務に専念できる環境の整備等、へき地の診療機能の維持・向上に対する取組みが必要です。

〔対策〕

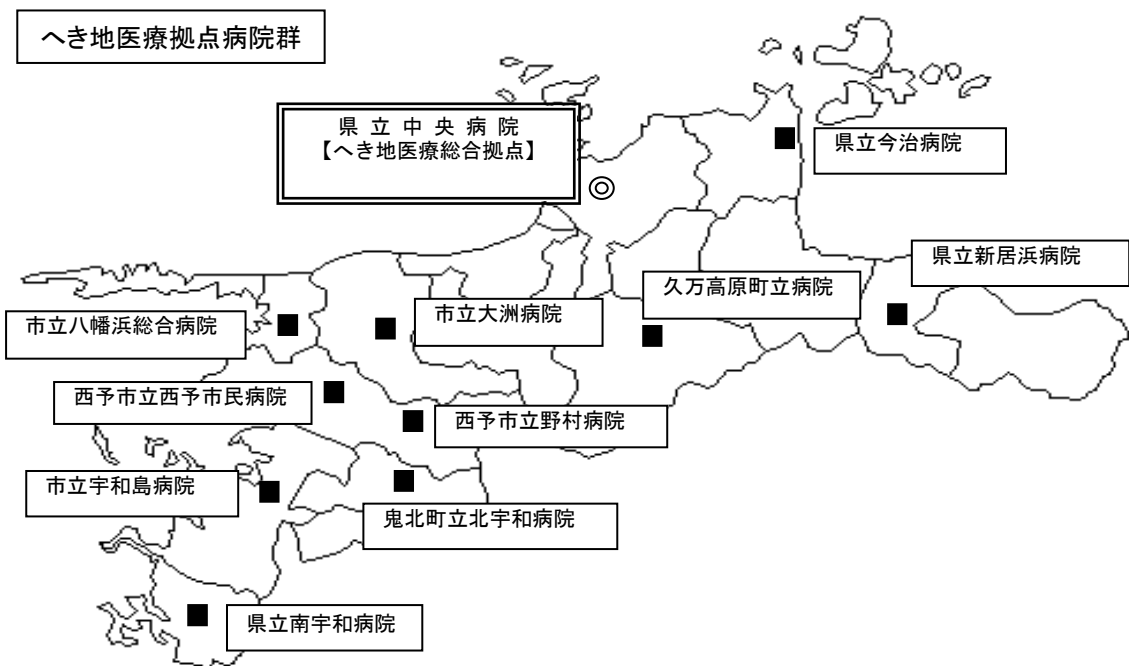
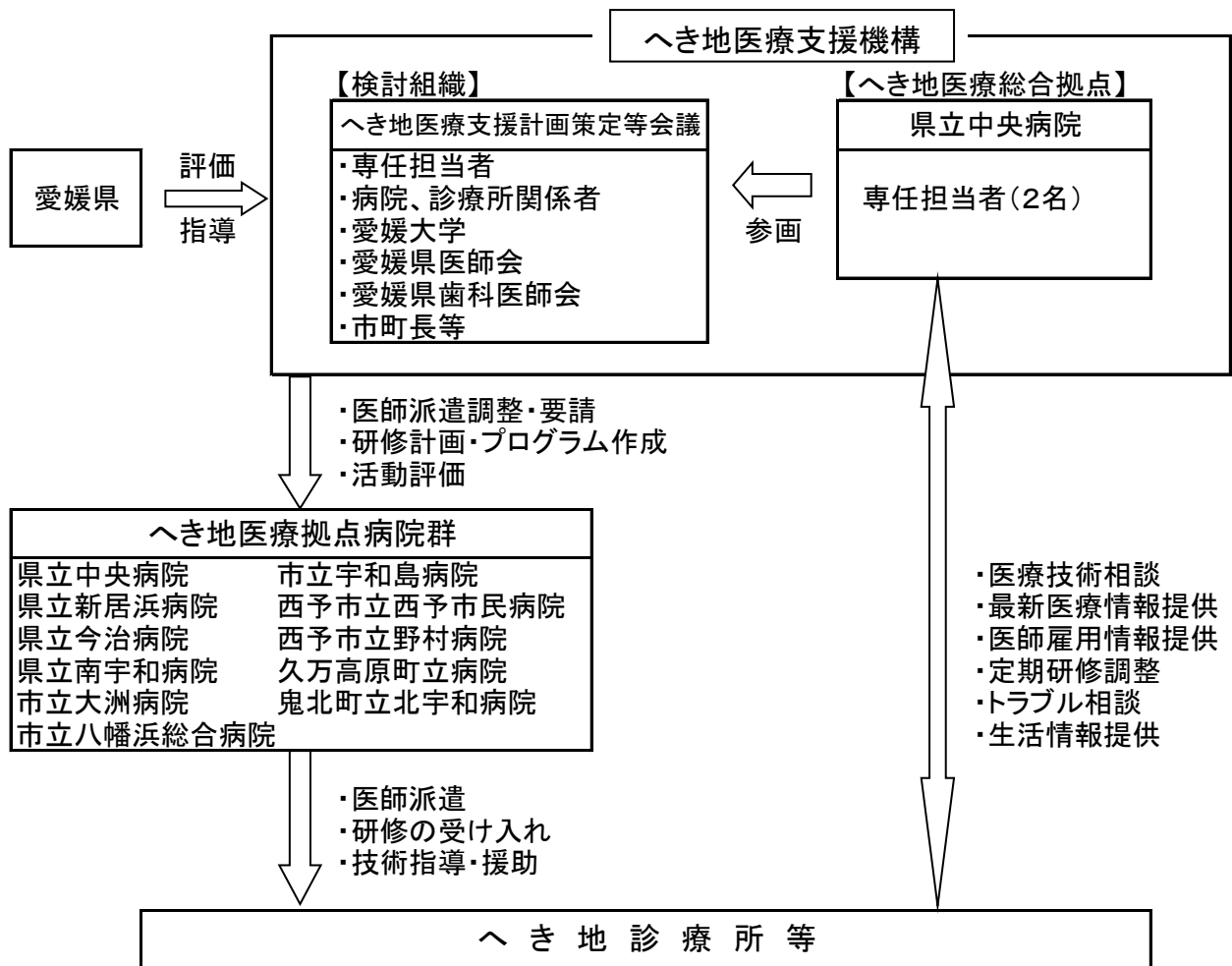
- ・「愛媛県へき地医療支援計画策定等会議」を「愛媛県保健医療対策協議会」の部会として位置づけ、へき地医療対策として、医療従事者を確保するとともに、その資質向上を図るための研修等についても専門的に検討協議し、各種事業の円滑かつ効率的な実施に取り組みます。
- ・地域医療に対する意識が高く、継続して勤務できる医師を専任担当者として、へき地医療支援機構に配置し、へき地医療拠点病院等の関係機関との役割分担と連携のもと、へき地医療を支援する体制の強化に努めます。
- ・へき地医療支援機構と地域医療支援センターの連携により、へき地医療体制の総合的な企画・調整を行い、へき地医療を支援します。
- ・無医地区等の島しょ部住民の医療を確保するため、社会福祉法人恩賜財団済生会が巡回診療船済生丸による診療事業に対し運営費補助を行います。

③数値目標

指標名	集計単位	現状		目標		出典
		現状値	時点	目標値	時点	
無医地区における健康診断実施回数	県	7	H25	無医地区を有する市町で年1以上	H35	無医地区等調査
	宇摩	1				
	新居浜・西条	0				
	今治	0				
	松山	5				
	八幡浜・大洲	0				
	宇和島	1				
へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣等実施回数	県	1,228	H27	各へき地医療拠点病院で月1以上、もしくは、年12以上	H35	へき地医療現況調査
	宇摩	0				
	新居浜・西条	0				
	今治	0				
	松山	111				
	八幡浜・大洲	96				
	宇和島	1,021				
へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣実施回数(参考)	県	207	H27	—	—	へき地医療現況調査
	宇摩	0				
	新居浜・西条	0				
	今治	0				
	松山	111				
	八幡浜・大洲	96				
	宇和島	0				
へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実施回数(参考)	県	1,021	H27	—	—	へき地医療現況調査
	宇摩	0				
	新居浜・西条	0				
	今治	0				
	松山	0				
	八幡浜・大洲	0				
	宇和島	1,021				
へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数(参考)	県	0	H27	—	—	へき地医療現況調査
	宇摩	0				
	新居浜・西条	0				
	今治	0				
	松山	0				
	八幡浜・大洲	0				
	宇和島	0				

- ・無医地区における健康診断実施回数：地域住民が最低限の保健衛生状態を継続して管理できることを目指すため、現状値の年1回以上を目標値に設定
- ・へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣等実施回数：国から、へき地医療拠点病院については代診医派遣、医師派遣、巡回診療を、いずれか月1回以上、もしくは、年12回以上実施することが求められていることから、目標値に設定

へき地医療支援体制

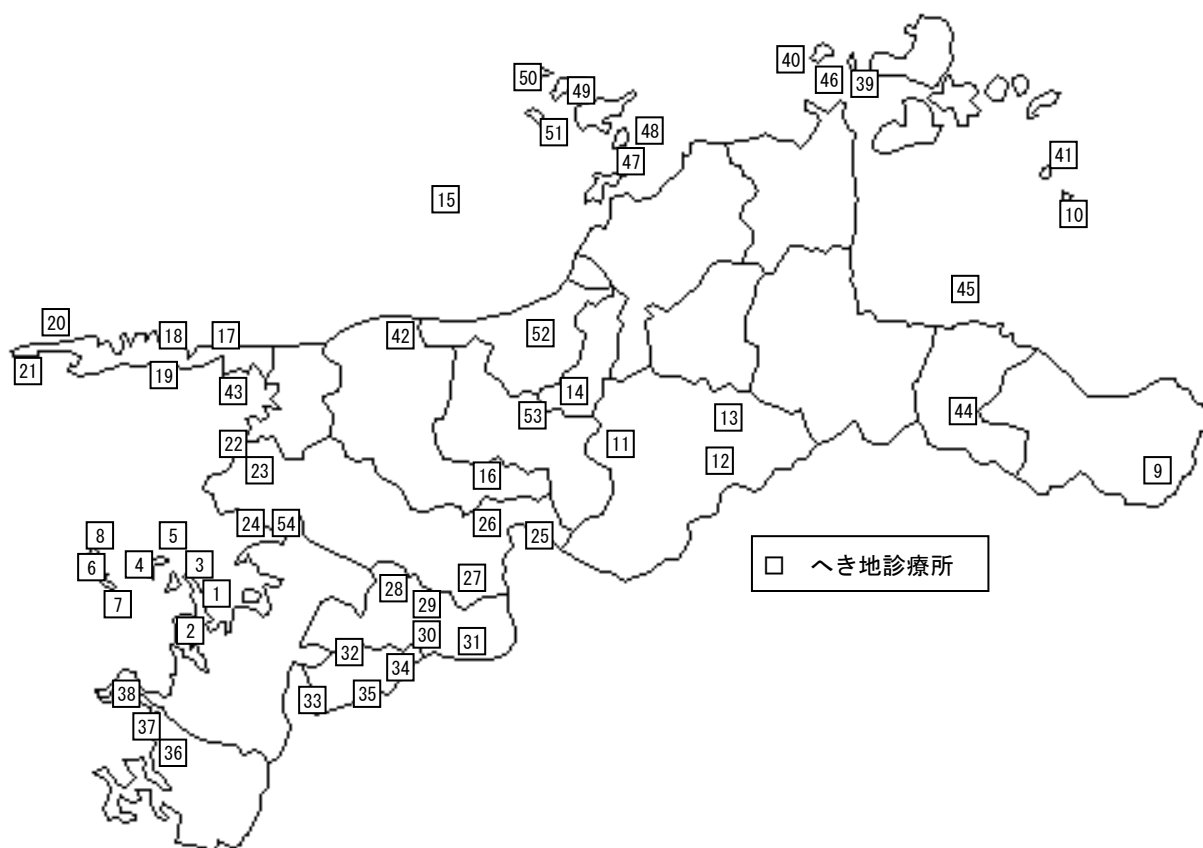


県内自治体立病院及びへき地診療所等一覧

医療圏		自治体立病院名		診療所名	旧市町村名	一週間の開院日数(日)※1	一日平均外来患者数(人)※1	常勤医(人)※2	非常勤医(人)※2	
二次	一次(各市町)	(◎)へき地医療拠点病院								
宇摩	四国中央市			新宮診療所	旧新宮村	5	37.4	1		
新居浜・西条	新居浜市	愛媛県立新居浜病院(◎)		別子山診療所	旧別子山村	1	5.9		2(2)	
				大島診療所		2	7		2(2)	
今治	今治市	愛媛県立今治病院(◎)		岡村診療所	旧関前村	3	30	1		
				大下出張診療所	旧関前村	0.5	10		1(1)	
				小大下出張診療所	旧関前村	0.5	5		1	
			上島町		魚島診療所	旧魚島村	5	10		1(1)
				高井神出張診療所	旧魚島村	1	4		1	
松山	松山市	愛媛県立中央病院(◎)		睦月診療所	旧中島町	1	16.7		3(3)	
				野忽那診療所	旧中島町	1	9		3(1)	
				怒和診療所	旧中島町	1	17.8		3(1)	
				津和地診療所	旧中島町	1	14.9		3	
				二神診療所	旧中島町	1	10.8		3(2)	
	久万高原町	国民健康保険久万高原町立病院(◎)		父二峰診療所	旧久万町	5	14.4		5(5)	
				面河診療所	旧面河村	3	13.2	1		
				面河診療所前組出張所	旧面河村	1	5.2		1(1)	
	砥部町			砥部町診療所	旧広田村	5	11.8	1		
	伊予市			佐礼谷診療所	旧中山町	5	58.6	1		
東温市										
松前町										
八幡浜・大洲	八幡浜市	市立八幡浜総合病院(◎)		大島診療所		5	8	1		
			西予市	西予市立野村病院(◎) 西予市立西予市民病院(◎)	二及診療所	旧三瓶町	3	38.1		1(1)
		周木診療所	旧三瓶町		3	42.2		1		
		狩江診療所	旧明浜町		3	12.8		1(1)		
		惣川診療所	旧野村町		2	15.9		1(1)		
		土居診療所	旧城川町		4.5	22.1	1	2(2)		
		遊子川出張診療所	旧城川町		0.5	7.8		2(2)		
		たんぼぼ俵津診療所	旧明浜町		5	20		5(5)		
	大洲市	市立大洲病院(◎)		青島診療所	旧長浜町	1	4.4		1(1)	
				豊茂診療所	旧長浜町	1	2.8		1(1)	
				河辺診療所	旧河辺村	5	30.8	1		
	伊方町				九町診療所	旧伊方町	5	23	1	
					瀬戸診療所	旧瀬戸町	5	36	2	
					大久出張診療所	旧瀬戸町	1	11		2(2)
				串診療所	旧三崎町	4	28.8	1		
				正野出張診療所	旧三崎町	1	4.2		1(1)	
内子町			済生会小田診療所		5	43.5	1	6(6)		
宇和島	宇和島市	市立宇和島病院(◎) 宇和島市立吉田病院 宇和島市立津島病院		遊子診療所		5	10.7		1(1)	
				下波診療所		2	3.9		1	
				蔭淵診療所		5	9.9		1	
				戸島診療所		5	10.4		1(1)	
				嘉島診療所		5	17.5		1	
				日振島診療所		5	3.6		1(1)	
				日振島診療所喜路出張所		0.5	15.6		1	
				日振島診療所能登出張所		0.5	11.9		1	
	鬼北町	鬼北町立北宇和病院(◎)		三島診療所	旧広見町	2	29		2(2)	
				愛治診療所	旧広見町	2.75	18		1	
				小倉診療所	旧広見町	0.25	34		1	
				日吉診療所	旧日吉村	3.5	42	1		
	松野町				中央診療所		5	83.3	2	2(2)
					目黒診療所		0.13	3.5		1
				吉野診療所		0.13	10.4		1	
				谷口診療所		0.13	7.9		1	
愛南町	愛媛県立南宇和病院(◎) 愛南町国保一本松病院		内海診療所	旧内海村	5	25	1			
			内海診療所家串出張所	旧内海村	0.5	7		1(1)		
			内海診療所魚神山出張所	旧内海村	0.5	11		1		
6圏域	20市町	15病院(◎11病院)	54施設	-	-	-	17(17)	72(50)		
								延べ人数(実人数)		

※1：一週間の開院日数及び一日の平均外来患者数は、厚生労働省「平成28年度へき地医療現況調査(H27実績)」による
 ※2：常勤医・非常勤医の数は、「平成29年度愛媛県調べ」による

へき地診療所所在地



【国民健康保険診療所】

1. 宇和島市国保遊子診療所 ※
2. 宇和島市国保下波診療所 ※
3. 宇和島市国保蔭瀨診療所 ※
4. 宇和島市国保戸島診療所 ※
5. 宇和島市国保嘉島診療所 ※
6. 宇和島市国保日振島診療所 ※
7. 宇和島市国保日振島診療所
喜路出張所 ※
8. 宇和島市国保日振島診療所
能登出張所 ※
9. 四国中央市国保新宮診療所 ※
10. 上島町魚島国保診療所 ※
11. 久万高原町国保父二峰診療所 ※
12. 久万高原町国保面河診療所 ※
13. 久万高原町国保面河診療所
前組出張所 ※
14. 砥部町国保診療所 ※
15. 大洲市国保青島診療所 ※
16. 大洲市国保河辺診療所 ※
17. 伊方町国保九町診療所 ※
18. 伊方町国保瀬戸診療所 ※
19. 伊方町国保大久出張診療所 ※
20. 伊方町国保串診療所 ※

※ 第一種・第二種国民健康保険診療所

21. 伊方町国保正野出張診療所 ※
22. 西予市国保周木診療所
23. 西予市国保二及診療所
24. 西予市国保狩江診療所
25. 西予市国保惣川診療所 ※
26. 西予市国保遊子川診療所 ※
27. 西予市国保土居診療所 ※
28. 鬼北町国保愛治診療所 ※
29. 鬼北町国保小倉診療所
30. 鬼北町国保三島診療所 ※
31. 鬼北町国保日吉診療所 ※
32. 松野町国保中央診療所
33. 松野町国保目黒診療所 ※
34. 松野町国保吉野診療所
35. 松野町国保谷口診療所
36. 愛南町国保一本松病院附属
内海診療所 ※
37. 愛南町国保一本松病院附属
内海診療所家串出張所 ※
38. 愛南町国保一本松病院附属
内海診療所魚神山出張所 ※

【国庫補助を受けて設置した へき地診療所】

39. 大下出張診療所
40. 岡村診療所
41. 高井神へき地出張診療所
42. 大洲市豊茂診療所
43. 八幡浜市大島診療所

【その他のへき地診療所】

44. 別子山診療所（新居浜市）
45. 大島診療所（ " ）
46. 小大下出張診療所（今治市）
47. 睦月診療所（松山市）
48. 野忽那診療所（ " ）
49. 怒和診療所（ " ）
50. 津和地診療所（ " ）
51. 二神診療所（ " ）
52. 佐礼谷診療所（伊予市）
53. 済生会小田診療所（内子町）
54. たんぼぼ俵津診療所（西予市）

○無医地区（平成 26 年 10 月 31 日現在：7 地区）

四国中央市	嶺南〔富郷町・金砂町〕（旧伊予三島市）	砥部町	高市（旧広田村）
久万高原町	東川（旧美川村）	〃	満穂（〃）
〃	二籠（〃）	〃	玉谷（〃）
		鬼北町	富母里（旧日吉村）

○準無医地区（平成 26 年 10 月 31 日現在：5 地区）

新居浜市	別子山（旧別子山村）	西予市	城川（旧城川町）
松山市	安居島（旧北条市）	〃	惣川（旧野村町）
久万高原町	笠方（旧面河村）		

○無歯科医地区（平成 26 年 10 月 31 日現在：26 地区）

四国中央市	嶺南〔富郷町・金砂町〕（旧伊予三島市）	砥部町	高市（旧広田村）
新居浜市	別子山（旧別子山村）	〃	満穂（〃）
今治市	大下（旧関前村）	〃	玉谷（〃）
久万高原町	東川（旧美川町）	八幡浜市	大島（旧八幡浜市）
〃	二籠（〃）	大洲市	河辺（旧河辺町）
〃	直瀬（旧久万町）	伊方町	三机・塩成・足成・大江・志津・小島・大久 川之浜・田部・神崎・高茂（旧瀬戸町）
〃	二名（〃）	〃	与侈・串・正野（旧三崎町）
〃	霧峰・父野川（〃）	宇和島市	蔭淵（旧宇和島市）
〃	洪草・本組・中組（旧面河村）	〃	戸島（〃）
〃	若山（〃）	〃	嘉島（〃）
〃	前組・相の峰（〃）	〃	日振島（〃）
〃	柳井川（旧柳谷村）	鬼北町	富母里（旧日吉村）
〃	西谷（〃）		
〃	中津（〃）		

○準無歯科医地区（平成 26 年 10 月 31 日現在：4 地区）

今治市	小大下（旧関前村）	久万高原町	笠方（旧面河村）
松山市	安居島（旧北条市）	大洲市	青島（旧長浜町）

へき地医療関連データ一覧

体系図 番号	データ名（出典）	全国	県	宇摩	新居浜 ・西条	今治	松山	八幡浜 ・大洲	宇和島	時点	
1、22、 25	無医地区における健康診断実施回数（厚生労働省）	/	7	1	0	0	5	0	1	H25年	
	無医地区における健康診断受診者延数（厚生労働省）	/	132	19	0	0	72	0	41		
1、22、 25	無医地区における健康教育実施回数（厚生労働省）	/	15	1	0	0	9	0	5	H25年	
1、22、 25	無医地区における健康相談実施回数（厚生労働省）	/	112	100	0	0	9	0	3	H25年	
	無医地区における健康相談相談者延数（厚生労働省）	/	267	128	0	0	51	0	88		
1、22、 25	無医地区における保健指導延件数（訪問指導延件数）（厚生労働省）	/	195	128	0	0	62	0	5	H25年	
1	へき地保健指導所の保健活動日数（厚生労働省）	126.6	0	0	0	0	0	0	0	H27年	
	へき地保健指導所の保健活動対象者数（厚生労働省）	519.5	187	0	187	0	0	0	0		
2	無歯科医地区等における歯科保健指導実施人数（県調べ）	/	380	0	14	5	159	170	32	H28年	
3、8、 21	済生丸による診療島しょ数（県調べ）	/	19	/	/	/	/	/	/	H28年	
	済生丸による配船日数（県調べ）	/	63	/	/	/	/	/	/		
	済生丸による診療人員（県調べ）	/	2,149	/	/	/	/	/	/		
4、23	へき地における診療所数（厚生労働省）	23	55	1	2	5	10	17	20	H28年	
	へき地における病床数（厚生労働省）	31.6	61	0	0	8	15	19	19		
4	へき地における歯科診療所数（厚生労働省）	1.2	2	0	0	0	0	2	0	H28年	
4、23	へき地診療所の常勤医師数（県調べ）	/	17	1	0	1	3	8	4	H29年	
	へき地診療所の非常勤医師数（県調べ）	/	50	0	4	2	13	23	8		
4、23	へき地における医師以外の医療従事者数（歯科医師、看護師、薬剤師等）（厚生労働省）	常勤歯科医師数	0.9	2	0	0	0	2	0	H28年	
		非常勤歯科医師数	0.4	0	0	0	0	0	0		
		常勤看護師数	37.7	74	2	0	4	7	32		29
		非常勤看護師数	21.1	43	0	2	4	5	22		10
		常勤薬剤師等数	18.6	28	3	0	2	0	21		2
		非常勤薬剤師等数	7.5	8	0	0	0	5	3		0
5、11	へき地医療拠点病院数（厚生労働省）	6.7	11	0	1	1	2	4	3	H28年	
6、12、 24、25	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数（厚生労働省）	111.4	0	0	0	0	0	0	0	H27年	
	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療日数（厚生労働省）	85.1	0	0	0	0	0	0	0		
	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ受診患者数（厚生労働省）	556.8	0	0	0	0	0	0	0		
6、12、 24、25	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実施回数（厚生労働省）	333.2	1,021	0	0	0	0	0	1,021	H27年	
	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣延べ派遣日数（厚生労働省）	282.4	686	0	0	0	0	0	686		
6、12、 24、25	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣実施回数（厚生労働省）	89.8	207	0	0	0	111	96	0	H27年	
	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣延べ派遣日数（厚生労働省）	88.1	160.5	0	0	0	111	49.5	0		
7、13	へき地における巡回診療の実施日数（厚生労働省）	50	481	0	0	0	457	24	0	H27年	
8、23	へき地における訪問診療（歯科を含む）の実施日数（厚生労働省）	1,026.7	926	110	0	0	131	466	219	H27年	
	へき地における訪問看護の実施日数（厚生労働省）	803.4	370	0	6	0	216	148	0		
10	自治医科大学卒業生数（県調べ）	/	88	/	/	/	/	/	/	H29年	
10	へき地・短期奨学金貸与者数（県調べ）	/	25	/	/	/	/	/	/	H29年	
10	地域医療医師確保奨学金貸与者数（県調べ）	/	152	/	/	/	/	/	/	H29年	
14	医師の派遣時間（県調べ）	/	8,060.5	0	0	3,563.5	807	1,587	2,103	H28年	
15	小児救急医療電話相談件数（県調べ）	/	11,803 (その他、不明を含む)	652	1,769	904	6,901	935	502	H28年	
16	ドクターヘリ出動件数（県調べ）	/	33	0	6	3	8	12	4	H28年	
17	遠隔医療等ICTを活用した診療支援の実施状況（厚生労働省）	3.7	1	0	0	0	0	0	1	H28年	
18	協議会の開催回数（厚生労働省）	1.7	15	/	/	/	/	/	/	H27年	
18	協議会等におけるへき地の医療従事者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師等）確保の検討回数（厚生労働省）	1.1	15	/	/	/	/	/	/	H27年	
19	へき地医療支援機構専任担当者による代診医派遣日数（県調べ）	/	98	0	0	0	0	55	43	H28年	
20	地域医療支援センター運営委員会の開催回数（県調べ）	/	3	/	/	/	/	/	/	H28年	

（厚生労働省が提供する医療計画作成支援データブック、その他統計調査及び県調査により把握したデータ）
 注）NDBに基づくデータは、一定数以下のものを「*」と表示している。ただし、集計値が0の場合は「0」と表示する。
 [一定数] > レセプト枚数及び算定件数：10未満 > 医療機関数：3未満